

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度 第2回佐渡市図書館協議会
開催日時	令和元年 11月5日(火) 9時30分開会 11時45分閉会
場所	佐渡市中央図書館 2階講座室
議題	(1) 佐渡市立図書館ビジョン事業実施計画について (2) その他
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	○佐渡市図書館協議会委員 会 長 木村 和夫 副会長 関根 良子 委 員 大橋 幸喜 金子 真理 引野 弓佳 瀧川 紀子 小松美知乃 稲田 修 ○事務局(教育委員会 社会教育課 中央図書館) 教育長 渡邊 尚人 課 長 粕谷 直毅 館 長 源田 俊夫 係 長 中濱 智子 主 事 本間 春菜
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	2名
備考	—

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
	1 開会 2 議題 (1) 佐渡市立図書館ビジョン事業実施計画について

木村会長	<p>図書館ビジョンの中の大きい2で10年間という言葉がありますが、前期・後期という言葉が一切ありません。実際には計画するときに10年間は長いし見直しも出てくるため、はじめの5年間を前期とし、評価に基づき見直しをして後期を一層充実するように改善されていきます。そのようなことで前期、後期とおっしゃっているのではないかと思います。どう思われますか。</p>
瀧川委員	<p>10年は長すぎるので、5年で前期・後期とするのは分かりやすくして良いです。問題ありません。</p> <p>1 佐渡に暮らす子どもたちの豊かな心を育む図書館</p>
引野委員	<p>施策2-2 小・中・高校生の施設の見学について。 3番の団体貸し出しについて。学校で、団体で借りるということは可能だと思うので、見学の際に具体的に借りるところまで取り入れてくださるとありがたいです。必ず、小中時代に1回は図書館に足を運んで本を選ぶという体験をしてほしいです。</p>
瀧川委員	<p>豊かな心というビジョンであれば、小学校1年生のときに強制ではありませんが、小学校から保護者あてにお便りを出し、このような手順で登録することが可能だ、ということを知りたければ、利用する機会に恵まれる子どもが増えると思います。</p>
木村会長	<p>貸し出しの件について。施策3-2、団体貸し出し制度の利用推進で新規となっていますが、どこが新規なのですか。</p>
中濱係長	<p>学校の図書担当の方に働きかけをして、団体貸出はこういう制度です、というパンフレットの配布や、先生方の懇談会のときに参加させてもらい団体貸出の周知をすることが新規になります。</p> <p>小学生の施設見学のときの団体貸出や、小学1年生に案内を出すところ、全部の図書館ではないが実施している部分はあります。参考にさせていただいて、そういった部分から力を入れていきたいです。</p>
稲田委員	<p>施策3-1 図書館担当職員との連携。 各学校に図書館を担当している教諭と図書館事務員が配置されています。これはどちらの対象を示しているのでしょうか。 関わっていく目的があると思いますが、連携して何をやるのですか。目的によって対象が違うと思います。</p>

中濱係長	<p>学校教育課学事係の主催で、図書担当の先生と図書館事務職員合同の研修会を毎年開いています。来年度も呼んでいただきたいと考えています。</p>
瀧川委員	<p>学校の図書担当の方との会議があるのであれば、年間学習計画がその場にあるといいです。年間学習計画の活用をどこの図書館もやっていただけるといいです。内容の会議ではなく、情報共有の場として生かしていただきたいです。</p> <p>5年間、10年間のスパンがあるなら今すぐにはなく、カリキュラムに入れてくれれば4月の段階で学習案はでているはずです。</p>
木村会長	<p>施策1 子ども図書館だよりが新規になるのでしょうか。</p>
中濱係長	<p>そうです。毎月は難しいですが、年に何回か小学生向け、中学生向け、保育園児向けと作れたらと思っています。</p>
木村会長	<p>市報さどは図書館コーナーを設けているので全般的なものを載せていますが、子どもに絞ってはいません。10の図書館(室)を順番にしてやっていけば、中央だけやるという負担が減りますね。</p>
瀧川委員	<p>1の小学生対象のアニメーションは内容的に知識がないとできないと思いますが、対象の人がいるのですか。</p>
中濱係長	<p>昨年度県が主催で佐渡市でも開催した、子ども読書レベルアップ研修会の中でアニメーションの会が2回ほどありました。その会に参加していた学校の図書館事務担当や、読み聞かせのボランティアの方たちの力を借りてやってみたいと考えています。ただ、集団読書というのが同じ本を同時に子どもたちに読んでもらって、その上で取り組むものなので、20~30冊同じ本がないとなかなかできません。そのための本を購入することを図書館としては計画的にやっていきたいです。その利用方法については図書館の職員とボランティアの方でやってみたいと思います。</p>
瀧川委員	<p>初めて聞いたという方が大勢いると思います。どこか限定でやってから報告ではなく、今回はここでやりますよ、と募集をかければいけるとと思います。体験しない子どもたちや保護者はこの言葉を聞いても、きっと分からないでしょう。取組に目新しさがあっていいと思います。各地区でできるようにお願いしたいです。</p>
中濱係長	<p>事業計画ができたときに、余白に説明を載せるような形にしたい</p>

大橋委員	<p>と思います。</p> <p>メディアを活用して市民に知らせることが重要で大事だと思います。アニメーションだけではなく、これからやろうとしている新規事業についても、取材していただいて市民に周知していくことをやっていただきたいです。</p> <p>2 誰もが利用しやすい図書館</p>
引野委員	<p>1の新規事業で障がい者や高齢者のサービスの件。</p> <p>今まではやっていなかったのですか、少しはあったが知られていなかったのでしょうか。もし今まで特にやっていなかったとしたら、島内の施設に向けて資料をいただけたらとありがたいのでお願いしたいです。</p>
中濱係長	<p>移動図書館車で回る方面の中に高齢者施設があり、定期的に伺っていましたが、読み聞かせをしたり図書館サービスの出張をしたりということはありませんでした。これから力を入れていきたいので、始まったら施設のほうへ声がけをして、一緒にやれたらいいなと思います。</p>
小松委員	<p>高齢者に対してイベントで行ってくれると助かります。</p>
木村会長	<p>何かイベントが決まっている日に合わせて行ければいいかなと思います。</p>
大橋委員	<p>施策3、図書館以外での受け取りが出来るステーションの設置の検討、これは5年以内に設置はできないということでしょうか。</p>
源田館長	<p>現在どこの図書館(室)でも返却可能ですが、それ以外に返却できるような、受け取りが出来るようなことを考えてみたいです。移動図書館車という部分がありますが、これは遠隔地を中心に期間も限定されてやっているところもありますので、隙間を埋められることを何かの形でできたらいいと思います。</p>
瀧川委員	<p>サービスセンターなどの行政関係の所など、図書館以外の公共施設に設置する方法もあります。もし増やすということを考えているのであれば検討してほしいです。</p>
大橋委員	<p>検討も含め5年の間に設置ということをお願いしたいです。</p>

<p>関根委員</p>	<p>誰もが利用しやすい図書館と4の市民と共に歩み愛される図書館に関係することかなと思います。40～60歳の働き盛りの方たちへのアピールがこのビジョンの中には出てきていないような気がします。壮年層へのアピールは何か入れてもいいのかなと思います。健康診断のときに、健康診断に関係する本をコーナー化して置くとアピールできるのではないのでしょうか。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>健康志向の本や雑誌系統を見直して入れるといいかもしれません。</p>
<p>小松委員</p>	<p>働き盛りの親をどう取り込むのでしょうか。本を読まないのは、仕事が忙しいからではなく、小さいときの習慣かなと思います。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>3 佐渡の歴史と文化の学びを支える図書館</p> <p>講座に、できれば高校生に出てほしいです。学校のカリキュラムが分かっている、図書館に情報がきたらタイムリーに、文弥人形や能について学ぶときにその関係する方を呼んで、学生を招待するという形をとるとすぐ生きてきます。学校と連携して若い人たちに聞かせる体験に取り組んでほしいです。</p>
<p>瀧川委員</p>	<p>中高生は大学の取組へ繋がっていくのではないのでしょうか。分かりやすい講座も開いてほしいです。</p>
<p>木村会長</p>	<p>佐渡市の中である程度まとめて（資料を）保存できる場所はあるのですか。</p>
<p>渡邊教育長</p>	<p>郷土資料の問題は、博物館との共同になります。佐渡市は保管庫と収蔵庫があり、小中学校が廃校したところにとりあえず入れています。古い資料というのは、毎年毎年増えます。預かりきれないというのが現状です。郷土資料が大事だというのは分かりますが、整理された形で学校教育に使うというのであれば提供できますが、今は整備さえまなりません。このあと少しでも改善しなければいけないので予算要求等進めています。そこに使うお金が厳しいというのが現状です。</p> <p>佐渡市教育委員会では佐渡学ということで各小中学校に勧めています。それから総合学習の時間で取り組むように、小学校では副読本も作っているので、各学校に利用していただきたいと思います。郷土資料は公で一方向的にやるものではなく、色んな資料が民間</p>

	<p>の方の力を借りながら整備をしていかないと、どこに何があるか全然分かりません。一般の郷土資料科の方も含めて協力をお願いしたいと考えています。</p>
木村会長	<p>3の図書館職員を対象とした郷土史の学習会・研修会の開催とあるが厳しいでしょう。図書館の運営に関することだけでも大変です。歴史好きな方の協力、ボランティアを募ってやっていく方法もあると思います。</p>
中濱係長	<p>郷土に関する問い合わせが多いため職員も勉強していく必要があります。各自でとなると大変なので、詳しい先生をお呼びして話を伺えると、問い合わせがあったときにレファレンスに繋がるので、年1回くらいできたらな、と考えています。</p>
	<p>4 市民とともに歩み愛される図書館</p>
瀧川委員	<p>各図書館(室)の色が出やすいです。一番分かっているのはカウンターにいる人であって、どんなイベントだと呼びやすいかというアンケートをとり特色を集めたほうが良いと思います。内部外の人たちが企画を立ててもその地域と合わないと言に繋がっていかないといいと思います。</p> <p>各図書館(室)でこんなイベントをしたいとか、こんな雑誌があると増えそうだという意見があつての予算の使い方をしていただきたいです。</p>
源田館長	<p>施策2の中に、各図書館(室)、地域の特色を踏まえたイベントの作り方の項目があつた方がいい、という意味でイベントの実施を行うというような意味でいいですか。</p>
瀧川委員	<p>そうなるといいと思います。</p>
木村会長	<p>1つの図書館にずっと置いておくのではなく、定期的に本を巡回する。そのような取組は何か出来そうですか。</p>
中濱係長	<p>雑誌の人気の高いので、全館で同じものを買うということではできませんが、中央図書館で購入して半年経ったら雑誌のない相川図書室へ置いて、また予約が入れば違う図書館(室)へ、という方法で考えています。</p> <p>5 市民の課題解決を支える図書館</p>

木村会長	<p>歴史や文化等についての質問とかの問い合わせがくる、とありましたが、質問の内容をメモしてどういう答えをしたか、このようなことをデータとして入れておけば、この本はこの図書館にあるとか分かり助かるのではないのでしょうか。</p>
瀧川委員	<p>図書館でWi-Fiをとるということは、トラブルに繋がることもあります。分かりやすく、ここしか使えませんよとか表示して、制限がある中での広がりならばいいと思います。</p>
引野委員	<p>実際問題どれだけ制限しても、本来の目的とは違うWi-Fiの利用をする人は子どもだけではなく、大人にもいるかもしれません。小中学生の健全な指導、地域で育てる観点から禁止してしまうだけではなくて、図書館を学びの場として捉える一環として、目につくところにWi-Fiの利用について注意するものがあるといいと思います。</p> <p>評価</p>
大橋委員	<p>ビジョンが10年間の計画なので、最終的な目標が見えないなかで前期だけの目標ではどうなのでしょう。</p> <p>県内の他自治体との比較が評価の方法となっているので、評価シートのなかにもそのことを入れて、分かりやすく評価しやすくしたほうが良いと思います。</p> <p>数値であがっているし、まずはっきりと10年後の目標を定めるのか、定めないのか。それがなく本当に評価が適正にできるのでしょうか。</p>
源田館長	<p>1点目、10年後の目標について。 前期、後期と5年でわけているもので、この計画の中において目標数値は5年間分で考えさせていただきました。</p> <p>2点目、他自治体との比較について。 項目的に全てあるかどうかという部分もありますが、評価については客観的にその数値を見ていただくことで、佐渡市の現状と比較ができるかなと考えています。その比較も踏まえながら評価していただいたらどうかと思っています。</p> <p>数字を入れるところまでは考えていませんでしたが、評価にあたっては他自治体ではこのような数値が出ていますよ、ということはお示ししてもいいのかなと思っています。</p>

大橋委員	<p>県内の自治体の状況が把握できないで、この目標が適切なのかどうか見えません。それで評価はできるのですか。</p>
中濱係長	<p>基本的サービスについては県内どこの図書館もとっているものです。毎年統計の報告は出しています。実際、評価のときにどこのどのような数字を持ってくるかは、その時に考えなくてははいけません。県内で佐渡市はどのくらいのレベルにあるのかは意識していません。評価のときにはそれを参考にして、それを基に予算要求もしていきたいと思っています。イベントについても配布についても、県内で色々バラつきがあるので参考できる部分はしつつ、うちの基準を設けて評価するしかないかなと思います。人口や規模が近いところと比較したいと思っています。</p>
渡邊教育長	<p>県内、全国で図書館の数、人員、予算、蔵書数などは全て減っています。それを見て佐渡は適正に予算をいただいているかどうか判断できますし、それについてまた予算要望できます。今言った数値で見られるものが全てではありません。その辺は個々に出していません。他自治体との比較、現実にあるところで、佐渡と比較をしようとしています。全ての項目を比較するわけではありません。文言として「等」とつければいいのか分かりませんが、そういう書き方でできればお願いをしたいと思います。比較することにより設備等の改善も必要になってきます。</p> <p>もう1つ、評価で今後の課題になっていきますが、人口が減るわけですから、教育振興計画の数値は当然減っていきます。このままの評価の仕方がいいのかというと、私は良くないと思います。実際には、内容が充実しているか、満足度はどうかというところを評価していくと考えています。その点も含め今後5年間、事業計画の中の区切りとして考えています。数値だけではなく内容も含めた評価が出来る可能性が出ると思います。振興計画の中では満足度も含めた内容にと考えています。</p>
木村会長	<p>文言等についてはここでは議論しないで、事務局にお任せします。</p> <p>以上で佐渡市図書館ビジョン事業実施計画の素案、課題を残しましたが、皆さんのおかげで検討ができました。ありがとうございました。これで終わります。</p> <p>3 その他</p>

源田館長	<p>今回、ご審議いただいた部分につきまして手続き上、教育委員会のほうに最終的に諮っていただき決まる、という流れになります。</p>
木村会長	<p>子ども読書推進計画作成して、数値評価も作りました。前回も示したと思いますが、幼・保における読書推進というのが、設定したときからずっと 100%。令和元年度も 100%になるでしょう。本当にこれでいいのかという部分があります。令和3年度から数値を変えるからこのままでいいという方法もありますし、ここは変えなくてはいけないのではないかという部分もあるかもしれません。来年の協議会のときにこの部分について、このようなことで評価したらどうかということがあったら、考えを出していただけたらありがたいです。</p>
渡邊教育長	<p>今の件ですが必ずしなければいけない、継続してやらなければいけない事業があると思いますが、内容がどうかというのがあります。その辺を評価できないかな、と思います。どのような内容で評価できるかを考えていただきたいです。</p>
木村会長	<p>ありがとうございました。</p>
関根副会長	<p>4 閉会 閉会の挨拶</p>